

主な業務の執行状況

	件名	執行状況・経緯	内容
1	日本原燃への使用済燃料再処理役務等の委託に関わる事項	(1) 契約履行 ①品質保証活動 ・10月3日 再処理施設における回収物質貯蔵管理状況の現地確認を実施	(1) 契約履行 ①品質保証活動 ・回収物質（ウラン粉末、MOX粉末）の貯蔵管理状況及び管理記録について現地確認を実施し、適切に実施されていることを確認。
		(2) しゅん工に向けた審査対応等に係る取組み確認 ・10月9日 再処理施設等の今後の審査対応の見通し等について日本原燃から聴取	(2) しゅん工に向けた審査対応等に係る取組み確認 ・日本原燃から、以下の取組み等について確認し、しゅん工に向けた許認可への対応や工事の計画的な実施に加え、技術力の向上等、安全・安定操業に向けた取組みについても計画的に進めていくよう促した。 －9月29日 再処理施設、廃棄物管理施設及びMOX燃料加工施設に係る設工認の審査会合において、耐震設計及び構造設計等の検討状況について説明。 ・機構としては、原子力規制委員会への対応状況を注視していくとともに、都度、しゅん工に向けたスケジュールや取組みを確認していく。
2	廃炉推進業務に関わる事項	(1) 廃炉費用の支払に関する事項 ・9月30日 2024年度に実施した廃炉工事等の費用を各事業者へ支払	(1) 廃炉費用の支払に関する事項 ・“NuRO法第17条”に基づく各事業者からの請求に対して、内容を確認し、総額約29億円を支払。
		(2) 原子炉本体解体のパイロットプロジェクトに関する事項 ・10月3日 パイロットプロジェクトの発足について公表	(2) 原子炉本体解体のパイロットプロジェクトに関する事項 ・原子力発電所の廃炉を着実かつ効率的に進めることを目的として、NuROと事業者10社、電気事業連合会及びATENA（原子力エネルギー協議会）との協業体制による原子炉本体解体のパイロットプロジェクトを立ち上げたことをHPにて公表。
		(3) 理解促進に向けた取組み ・10月7日 イギリス大使館主催「第9回日英原子力産業フォーラム」に参加	(3) 理解促進に向けた取組み ・イギリス大使館主催のフォーラムにおいて「廃止措置円滑化に向けた直近の取組み」に関するプレゼンを実施。